

自ら考え行動する生徒会

校長 大柄 洋 樹

北海道の1日あたりの新型コロナウイルス感染者が、1万人を超えたというニュースに衝撃を受けました。20世紀のインフルエンザによる3度のパンデミックは、2年程度で収束していることを考えると、改めて新型コロナウイルスの恐ろしさを感じます。また、10代の若者の感染が家庭内感染から、学校現場へと移ってきているという情報に、今後の学校運営に危機感を感じます。生徒の活動を保障するためにも、感染症対策はまだまだ続きそうです。

さて、毎年生徒会が企画し、全校生徒が参加する「赤い羽根共同募金」の募金ボランティアを行っています。今年は11月9日（水）に実施しました。美瑛郵便局前、役場前、ホクレンショップ前の一角をお借りして、募金の呼びかけをしました。私も3カ所で生徒と一緒に立ちましたが、多くの方にご協力していただきました。また、中学生がボランティアをしている姿を通して、「助け合いの精神」を多くの方に届けることができました。寄付額は、26,781円にもなりました。この場をお借りして町民のみなさまに感謝申し上げます。

「赤い羽根共同募金」は、戦後間もない昭和22年に市民が主体の民間運動として始まり、今年で75年目を迎えます。共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」として、取り組まれています。美瑛町で集められた寄付の7割は地元で使われ、残りは災害時などのボランティアの活動費として使われます。生徒には出発式で話したので、自分たちの活動が美瑛町のためになっていることを心に留めて活動してくれたものと思います。

生徒会から、帰りのバスを待つ時間を利用して、校舎前の除雪をしたいと申し出がありました。早速、除雪用具の確保に取りかかりました。生徒が自分たちの活動を考える姿に、主体性が育っていることを感じます。いよいよ本格的な冬が訪れます。積雪と共に、生徒の活動も室内が中心となります。感染症対策を十分に取りながらも、生徒が生き生きと学校生活を楽しむことができるよう、生徒の考えを尊重して支えていきたいと思っています。

2年生は職場体験に

10月27日(木)、6名の2年生が自分の希望に基づいて、職場体験に出かけました。お世話になった職場は、動物病院や保育園、自動車整備工場などさまざまなジャンルに分かれました。体験後の生徒たちの表情や言葉から、貴重な体験ができた楽しさや満足感が伝わってきました。

日常のお仕事中、またコロナ禍の中、ご協力くださった各職場の皆様にご感謝申し上げます。生徒たちは現在、体験の様子についてまとめの作業を進めており、12月の参観日で発表会を行う予定です。



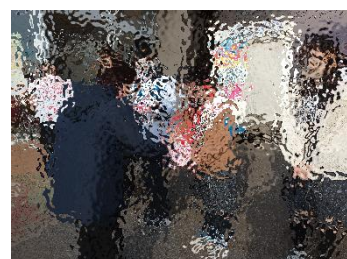
3年生は食体験に

3年生は2学期期末テスト終了後の10月28日(金)、美瑛選果のレストラン「アスペルジュ」に出かけ、美瑛の食材がメインのランチを頂きました。



みんなで赤い羽根共同募金に

9日(水)、生徒会主催の赤い羽根街頭募金活動を、郵便局前、役場前、ホクレンショップ前で実施しました。道行く方に呼びかけ、多くの方々のご協力を頂きました。皆様から寄せられた募金は、さっそく町の社会福祉協議会に届けました。



備えあれば憂いなし

22日(火)に、地震を想定した避難訓練を実施しました。予告なしでの実施でしたが、生徒たちは整然と行動しました。避難指示の放送から1分強で体育館に避難完了しました。

12月の主な行事予定

1日(木) 職員会議(午前授業)	12日(月) 常任委員会
2日(金) 3年学力テスト 全校集会	23日(金) 2学期終業式
5日(月) 2年キャリア教育(佐治先生講話)	24日(土) 冬季休業開始
9日(金) 第3回参観日	※3学期始業式は1月18日(水)です

※本通信は、個人情報保護の観点から、ご家庭でのみお読みください。生徒用端末からもご覧頂けます。